



# 学校だより

バンクーバー補習授業校

2024年度  
第9号  
2024・9・26

## 安全についての講話 (幼稚部・小学部)

9月21日(土)、バンクーバー市警察の日本人警察官の方を講師としてお迎えし、幼稚部・小学部の子どもたちを対象に「安全についての講話」を実施しました。子どもたちの発達段階に応じ、「幼稚部～小2」と「小3～小6」の2グループで、それぞれ30分程度で講話をしていただきました。

今回の講師の先生は、日本で生まれ日本で育った方です。当地のカレッジで留学アドバイザーとして勤務されていた際に、多くの日本人学生が犯罪被害に遭っているにも関わらず、言葉の壁等を理由に警察に届け出るのを躊躇する姿を見て、警察官となることを志したそうです。警察官となるために、さまざまな試験やプロセスを経て来られたそうです。普段の勤務は、市内のパトロールや不審者、迷子への対応、商店での窃盗に関する通報への対応など多岐にわたるそうです。

今回の講話は、子どもたちの防犯の意識を高め、日常生活における安全について考えさせるとともに、職業の世界についても関心をもつ機会となったことと思います。

なお、今回の講師の先生は、11月2日(土)の中学部・高等部対象のキャリア講話の際にも講師としてお迎えすることになっております。

### ☆ 生活の安全を守るために意識してほしいこと ☆☆☆ ～ 講師の先生からのメッセージ ～

バンクーバーは北米の中でも安全と言われてきたが、最近はそうでもありません。銃を使用した事件は少ないが、刃物を使用した事件は多く発生しています。皆さんが、ニュース等で見聞きするのは一部であり、日常的にさまざまな事件が発生しています。特に、薬物・アルコールの問題や精神的に問題を抱えた者による犯罪がたいへん多く発生しています。不幸にも怖い思いをすることがあれば、とにかくその場から逃げて911へ通報してください。また、人通りが多く、明るいところへ逃げるのが大切です。自分で通報することが難しい場合には、周りいる大人に迷わず助けを求めましょう。事件現場では、周りの方が協力してくれているケースが多いです。声が出なければ、身振り手振りでも構わないので、一人で解決しようとせずに周りに助けを求めましょう。防犯ブザーを携帯することも有効です。また、周囲の状況をよく見て、少しでもおかしいと感じる人がいる場合には、距離を取る、道を渡るなどして、不審者には近づかないようにしましょう。バス・電車内でのスマホの引ったくり被害がとても多く発生しています。被害者は、小・中学生からお年寄りまでさまざまです。街中でスマホに気を取られないようにしましょう。最後に、バンクーバー市警察の警察官はとてもフレンドリーです。見かけたら気軽に声を掛けたり、手を振って話しかけてみてください。

今回、講師の先生との仲介に、お力添えくださった在バンクーバー日本国総領事館の領事さん(安全担当)より、防犯のために日常的に留意したい点として、次のようなアドバイスをいただきましたので、お知らせします。

- \* 少しでも違和感を感じたり、怖いなど感じる人に遭遇したら、その人から距離をとる・逃げるを徹底すること。
- \* 不審者の目、手を見ること。不審者は「捕まえようとする・武器を出す」等、全て手を使う。
- \* 道路にエンジンを掛けたまま止まっている車やワゴン車の脇を通る際は、距離を取ること。(拉致対策です)  
逃げる際は、車の進行方向と反対の方向に逃げること。  
連れ込まれそうになったら、抵抗する、大声を出す、何か(乗っている自転車、歩道にある樹木、公園の遊具等何でも)にしがみつき、決して車に乗せられないようにすること。
- \* こちらの様子をじっとうかがっている人がいないか注意すること。  
また、家に入ったりするときや車を降りるとき、建物に入ったりするときなど、自分のいる空間が変わる瞬間は普段より気を引き締めること。



